

**社会学委員会社会福祉学分科会（第25期・第1回）
議事要旨**

日 時：2020年12月21日（月）19時00分～21時05分

場 所：zoomによるオンライン開催

出席者：和気純子 岩崎晋也 岩永理恵 大和三重 金子光一 木原活信 住居広士 竹本与志人 原田正樹 保正友子 牧里每治 湯澤直美（12名）

欠席者：須田木綿子 野口定久

記 録：保正友子

<議題>

1. 役員の選出：和気純子

- ・ 委員長 : 和気純子
- ・ 副委員長 : 原田正樹
- ・ 幹事 : 竹本与志人・保正友子

2. 特任連携会員の推薦

- ・ 特任連携会員として、大阪府立大学の山野則子教授を推薦したい旨が伝えられ、承認された。

3. 今期の活動計画「新たな危機(ウィズ/ポストコロナ時代の社会福祉ニーズ)に対応する社会福祉制度と支援のあり方」に関する意見交換

- ・ 審議・提言領域の柱として 1. 生活困窮、2. 社会的孤立と排除・差別、3. Vulnerable な人々の実態把握と対応、4. 社会福祉従事者、社会福祉施設・機関が示された。それに関する議論を行い、以下の結論となった。
- ・ 昨今のコロナに留まるのではなく、コロナが契機となり人々を分断させる状況に対する、より普遍的な社会福祉のあり方を踏まえた議論をする必要がある。これから先の社会にとって何が必要なのかを提言することが、数年先を見越したうえで意味がある。すなわち、コロナを契機として浮かび上がる様々な問題、分断・差別に対して社会福祉学の近未来のあり方が示せる中身にする。その際、デジタル化、ICT と社会福祉のあり方も検討する。

4. 今後の活動方法

- ・ 市民への還元、学協会への還元と協働が求められる。必要であればシンポジウムは、提言の作成以前に行えるので、早い段階で意見交換をして発信していく。
- ・ 社会福祉学分科会の委員が発起人になり、他領域の人にも呼びかけながら分科会を作っていく。

※次回委員会：2021年3月頃を予定、メールで調整する。

以上